

2022年度「ヨーロッパの歴史・文化講座」年間計画（コミュニティふらっと阿佐谷）

回	日時		テーマ	内容
第1回	4月6日	水	ヨーロッパ文化の源流①ギリシャ神話 オリュポスの神々	キリスト教とともにヨーロッパ文明の源流であるギリシャ神話。数千年にわたって文化や世界観に影響を与え続けてきたが、ゼウスを始めとするその神々は何と人間臭く、個性的、魅力的であることか。ルネサンス以降に描かれた多くの名画を通して、ギリシア神話の神々の豊穡な世界に触れる。
第2回	5月4日	水	ヨーロッパ文化の源流②キリスト教 イエスの誕生から洗礼まで	ヨーロッパの美術館を飾る多数の宗教画。また宗教問題が深刻化し、その和解が切実に求められている現代世界。名画を通して「新約聖書」の世界に触れることで、日本人の多数（多神教）とは異なる一神教の世界、信者数世界最多のキリスト教の考え方を理解する。
第3回	6月1日	水	海洋国家ヴェネチアの誕生と発展	「アドリア海の女王」、「アドリア海の真珠」と呼ばれたヴェネツィア共和国。その起源はゲルマン民族がヨーロッパに侵入した7世紀末にさかのぼるとされる。18世紀末ナポレオンによって滅びるまで1000年以上続いた史上最長の共和国ヴェネツィアはどのようにして誕生し、繁栄したのか。
第4回	8月3日	水	ミケランジェロとシスティーナ礼拝堂天井画	1512年10月31日、4年半の歳月をかけて完成したシスティーナ礼拝堂天井画の除幕式が行われた。集まった人々は賛嘆の声をあげた。「神の如きミケランジェロ！」それまでフレスコ画制作の経験のなかった彫刻家ミケランジェロは、どのようにしてルネサンス最高にして最大の絵画を完成させたのか。
第5回	9月7日	水	「新大陸発見」と食文化の変化	コロンブスが新世界を「発見」した1492年ののち、東半球と西半球の間で、植物、動物、食物、奴隷を含む人びとなど甚大で広範囲にわたる交換（「コロンブス交換」）が行われるようになった。ジャガイモ、トマトなど、新世界からもたらされた食物はそれまでの世界の食文化をどのように変容させたか。
第6回	10月5日	水	カトリック・ド・メディシスと聖バルテルミーの虐殺	パリ市の民兵と民衆によるプロテスタントの無差別殺戮「サン・バルテルミーの虐殺」は1572年に起きた。この事件後、フランスは王国の分裂を招きかねない深刻な対立状況に陥る。「血の色を好む残忍な権力者」カトリック・ド・メディシスは、この事態へどう対処し、「絶対王政」への道を準備したのか。
第7回	11月2日	水	オスマン・トルコとウィーン包囲	トルコの脅威からキリスト教世界を守る陸の防波堤だったウィーン。ここが決壊すればヨーロッパはイスラムの濁流にのみ込まれてしまう。1683年の第二次ウィーン包囲。30万のオスマントルコ軍に包囲されながらも、キリスト教ヨーロッパ世界はどのようにして守られたのか。
第8回	1月11日	水	モーツァルト「フィガロの結婚」の誕生	オペラ「フィガロの結婚」の初演は1786年5月1日。パリの民衆がバスターチユ監獄を襲撃する3年前のことだ。原作は「フランス革命の導火線」と言われたボーマルシェの戯曲。モーツァルトは、そのような過激な原作をどのようにオペラ化し、上演の許可を取り付け、人々を熱狂させるに至ったのか。
第9回	2月1日	水	トルストイ「戦争と平和」とナポレオン	トルストイは、ナポレオンのロシア遠征（1812年）の開始を「戦争がはじまった。すなわち人間の理性と人間のすべての本性に反する事件が起こった」（『戦争と平和』）と表現した。ナポレオン没落の決定的要因となったロシア遠征。その実態を、『戦争と平和』、各種証言をもとに考察する。
第10回	3月1日	水	イギリス産業革命と紅茶文化	サマセット・モームは「イギリスで美味しい食事がしたければ、1日に3回朝食を取ればいい」と言った。世界に先駆けて産業革命を起こしたイギリスを支えたのはその朝食の中核、「砂糖入り紅茶」だった。イギリスにおいて、どのように紅茶文化が誕生、発展、定着したのか。